

「Shadow Rays in MINEYAMA — 光と影による創作と展示」

○実施日 平成23年11月1日（火）

○対象者 常陸太田市立峰山中学校
第2学年（114名）

○内容

光と影による創作と展示を行うワークショップを開催する。
部分的に切り取った寒冷紗を重ねて吊し、背面から光を当てる。時間とともに光の方向を変えることによって、投影される影の形が変化していく。光と影を介して架空の時間と空間を創造し、それらを知覚・体験することを目的として展開する。

○講師

奥村理絵氏（建築家）



奥村氏は、'99年東京芸術大学大学院美術研究科博士課程修了。2次元の影の形と動きのコンポジションから3次元の空間を組み立てる手法の研究と作品で博士（美術）を修得。同年、奥村理絵建築デザインスタジオを設立し、建築設計をベースに映像インスタレーション等の制作活動を開始。'00年から、工学院大学工学部建築学科において学生の教育に携わる。'03年に、影で時の移り変わりを感じさせる「託児所ちびのミライ」を設計し、「時間景」をコンセプトに設計活動を続ける。建築をベースとしてプロダクトデザインやインスタレーション等、様々なジャンルで活動している。

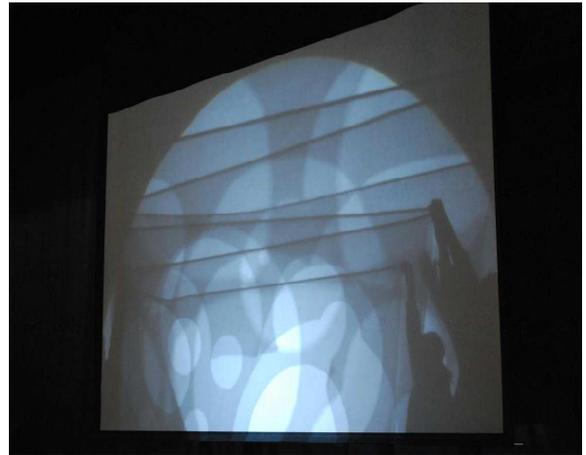
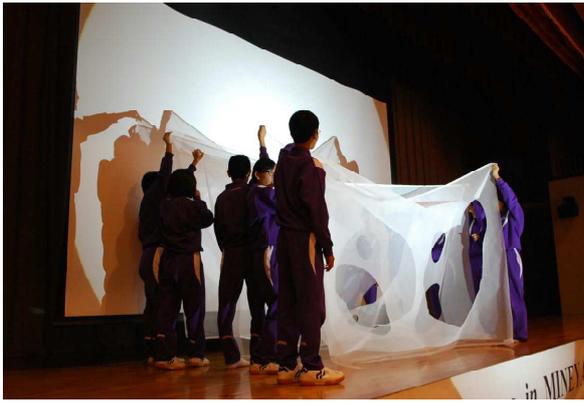
◆グループごとにアイデアを話し合う。



◆丸く切り抜いた寒冷紗にスポットライトを当てる。



「こんなふうになるんだ～」
光と影の美しさに見とれる生徒たち。



The Museum of Modern Art, Ibaraki
茨城県近代美術館